

Free Paper! フリーペーパー

好評発売中!!

レトロタイム

ひみつのかんかん



さく花山かずみ 偕成社刊

「さあ、いくつ見つけられるかな？」 1920~30年
絵本『ひみつのかんかん』には大正生れのはるちゃんや子どものころの風景が描かれています。今ではめずらしくなったり、もう見られなくなったものもたくさんあります。ちょっとタイムスリップしてみましょ!

- ・映画館入場料...40銭 ・コピー...10銭
- ・週刊誌(週刊朝日)...13銭 ・食パン...16銭
- ・公務員初任給...75円 ・入浴料...7銭(昭和5年当時)

アドバレー 1913年に東京日本橋で化粧品品名入りの気球を上げたのが始まり。高層の建物が多くなるにつれて見られなくなりました。

パラソル(日傘)はオールとともに関係なく大切なオシャレアイテムでした

モカ(モダン・ガール) 関東大震災後~昭和初期の若者のスタイル。西洋風のショートカット、洋装、濃いメイクが特徴。年配の人からは「不良スタイル」と言われたらしい... (いつの時代も...) ちなみに モダンボーイは「モボ」



レイトクリーム 大正~昭和初期にやたら登場する「レイトクリーム」の看板。化粧品メーカー「平尾賛平商会」(今はない)の大ヒット商品で月肌荒れ防止の化粧品クリームです。

金色のフタにエポスのある乳白色のビン



昭和8年のポスター

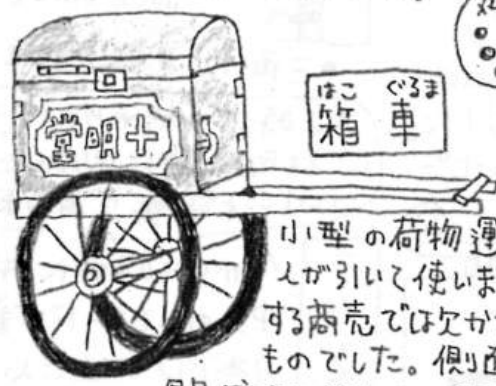
はるちゃんが父さんと歩いたにぎやかな通りのページ (本文P16-17)



五月ごろから「きんぎょ〜え〜きんぎょ〜」のゆっくりとした売り声で手の長い半台でやります。この半台の水が大きくゆれないように歩けるようになるには長年の修業が必要でした。金魚の種類は「和金」上手に飼うと30年位生きること...

定商屋 夏限定の薬の行商人。暑気アリ、夏バテ、食アリに効く煎じ薬や丸薬を売っていました。

たくさん引き出しのある薬箱の取手が「カチャカチャ」と鳴る音が特徴です。昭和30年(1955年)ごろまで見かけることができました。



明十箱車 小型の荷物運搬車。人が引いて使います。西に運ぶ商売では欠かせないものでした。側面には屋号(店名)が入っています。

人力車 庶民には身近な乗り物でした。

明治のはじめ日本で発明され昭和はじめまで利用されました。距離に応じてだいたいの料金が決められていました。裕福な家庭には「おかけ車」がいて「自家用人力車」がありました。



- 人気の昌次洋食**
- ♡ライスカレー (10銭)
 - ♡トッカツ (20銭)
 - ♡コロケ (-コ2銭)
- (昭和5年当時)